農務課長曾議

けふから三日間開催

、 原家米鍵の保管 ・ 、 米錠自治管理法の書言の居 ・ 、 米錠自治管理法の書言の居 ・ 、 米錠自治管理法の書言の居 ・ 、 米錠自治管理法の書言の居

間よ、米の音楽をないないないない。 はい、一般に曲なば対策 には、大、一般に曲なば対策 には、大、一般に曲なば対策 には、米の音楽をはなりないないないない。 には、米の音楽をはないないないない。 には、米の音楽をはいる。 には、米の音楽をはいる。 には、米の音楽をはいる。 には、米の音楽をはいる。 には、米の音楽をはいる。 には、米の音楽をはいる。 には、米の音楽をはいる。 には、米の音楽をはいる。 には、光の音楽をはいる。 には、光の音をは

地方に戦時戒嚴令

路軍が昨日施行

事業協議へ宇垣一成氏・干関・今年の水水に対し、中四日等、毎年応継

から義捐金

中村廣東總領事歸任(計學)

重要協議を受けたが、海軍首闘部は大適左の如き態度を持してゐる

駐屯各部隊に對して戰鬪準備を命す

わが方は極めて冷靜

し難いので中央及盟東常島に京で建かに収方をして目的を達成せてめる線、十九路軍に関し有効比適可なる手段を終するに非ざれば、劇に對して傷めて希謝地敗近なる態度を持してゐるが、事物が事物だけに至急その真相調査を完了する怨患あり、徳らに律武日を写くたるものあり と言 はれる、 事物の調査を全使命とし只管関連なる調査月的選行のみ願つてゐる我方は、十九路軍の非 たるものありと言はれる、『假の調査を設命と具管関策な調査が整行の表願つてゐる我方は、十五路軍の非「海寇外敵」の侵入を唱へ盛んに軍隊民衆を煽動し北海地方の民心動揺甚だしく物は騒然 **織する抗日宣傳隊は十二日來我方調查員及調查員保護の爲め入港せる帝國軍艦に對して地方に戦時戒嚴令を施行し駐屯各部隊に對し戦闘準備を命じた三言はれる、十九路軍の別題東上語の問題に使れば我方の調整の上陸を担立する 十九路軍は、十三日午後三時途に北** 局と緊密なる連絡を保ち双方の情は事態の重大性を邀認、外務省富

軍艦球暦〇〇に急航

覚懐の威信保持のため中央。 歴史南省局は勿論歌画の十九路軍に割しても縁乎たる重大決心を以て勢するの已むなきに至るものと解せ

果総職を選打したに拠らず、上海事鑑賞時の郷日軍職だる十九裕市に對し同事の新陸航游力を飛けす、北海事物調査に對する平和師かと云ふ驟に舞つて来た、魔泉磯暦が完全に置東省を自己のものとして同地線市の選集軍を立のす、余機源氏の麾下とし、名質派にか **悪解性そのものより一般して難見取時が何故公然とボ目布縁を北海の地に縁出せしめ、しかもこれが飛起に関し何等の推定をとらざら像なしと都僅極する通街をなしたに傾らず、土九路軍は挟方の伊和鶴城地調査の遂行に真向ふから反對して必る、事態はかくて利人員のよれを拒絶し又能と斃も日本人の北海上達は許可せすと公然代言した、護東省政府賞局は北海の形人後寒事性に驟い土九路軍は何等極い** 力を行はざるはその遺程重大である、帝國政府は平和的副進方針はあくまでこれを堅持するものできる、 **曹副新統は、支那副高致後士が氏をして北海古城中の十九路軍に對し上陸副が灰部の途行を要求せしめたが、憲派政府域に職し十九路政は何等職の東京があり、19月間の東部部事解より外務省に達した公派によれば、軍艦形館に使命し、東京北京 ききじょうしょ オラファッション・** 北海事的調査に封する平和的関

して東方路周華、田戸、中庭南南 に入り、北着の川班大使を中心と会は十四川明瀬京着原に大使宮邸 重要協議

り、時局を懸石され非須備用でには去る七月二十五日英山下には去る七月二十五日英山

一 五分忠子樂園銀型、五京魚熊田 総木佳恵長、宇佐美寺の武武郎 総木佳恵長、宇佐美寺の武武郎

には誠まりせられる等御多性 には誠まりせられ、何果る十 加野を聞はせられ、何果る十 には誠若のブラジル採卵使節

【東京電話】天皇、平后兩阵

宮城に還幸啓

原宮様の御三方には霧常分乗順宮様の御三方には異き極みである 離寒るだに畏き極みである 翻訳のに 野山 関斯郎に 野ら

の徳に過ぎせられ、御麗蘭の

【東京電話】十九路軍のわが調

介有氏も交渉案件の重要性に蓋み したが、同日則田中寒が局長と明 交部長磁作氏との第一回情見は明 が中四日は平川ル解電脈、局途を跳ホテルに於て事が引蓋を終へた

た後、監内各方面の深野を終へ午局後帯に乗めて一基の訓示をなし 非常にやかましい時代で、真然

出来るだけ引上げたいとお願ひ出来るだけ引上げたいとお願ひしてあるので、ある程度まではして、想見といったほどのものではないが、私に在別者で世の申をないが、私に在別者で世の申を

支持する重要な用作であると考えを云つてしまふのは明朗発をは悪く入もあるが、腹にあると

文像 て着任以来私の意見

1製二橋警務局長語る

物事に疑ひのある事

スポーツの秋、即らかに吸へ

いてはまだ総督、総監にゆつくりお透びが出來す、御授援を申上げて決定したい、奏務局の機算もまだ本決まりになってはあたしようが、

一に懸つて民間の自治的精神の之が所期の成果を得ると否とは一个申述べた通りでありますが、

石便だぜ。滅多

いかののよう

たてした さん

ら柳全の皮肉

高級中佐一行は十三日午後十一時 佐、 周後東遊覧佐殿少群、周洲佐 佐、 周後東遊覧佐殿少群、周洲佐 大戦新沙建寺 言談中佐一行は十三日午後十

要求の質徹に週週してあるが、十一証刑量告、側定方理を遂行に購し 長より各方面から接受せる情報を

は大臣総に参集、きつ豊田道務局 電、BB田市杨晟長等,廣東百腳部四日午部几時丞對青樹、長谷川次

れたい、十九路単に別して如何 十九路軍協議文中央は台別過句なる手級をとら 中央は台別過句なる手級をとら と同巻し密起一時間で終っ 意を創立してゐるが、右に刺し と回巻し密起一時間で終っ 須磨總領事が徐次長を訪問

を李自兩氏が許容

城斉郎勝及び銀行、節時代表書に、城斉郎勝及び銀行、節時代表書に、副長を始め本所登開長、郡長、在 下台の見送りがあつた、田中氏は 意信用から施工理事官と後階級 ち附くこと、なつたが、本府 人の質素であっ宮越正良氏方

はをらぬか、狼苅者を摘み出して

---01 ---01 このする深が強す者ところか、御本 起の 『あたしやお別に打たれるんたら このするでは、まで、まやすがっか。』

これでもから

は、容易に立む った、日連の

星進本見 之別金 展览十萬 系為株太二十七萬 共地四十二百

所はどろしく質力と子使して十一重は不可能であるから、関民政・十九階級が撤退しない限り調

うと思ってたとこので、わざく

<u>...</u>

用原家唯之 1 八八八 では、

吹かせてやられる。また手

. G

ALMOND DADALA

126

いきなりおころの無罪を関ん、母童

T

が、おころは街然といい放つ

生たらんとして、虚いこと!、上海の英雄が今度は北海の天

『上し、組みとあれやア打つてや 打つてくく

もつとく、息の根の止るまで打 が、白い皮膚を観ぎで鮮やかに見 頭から 胸へ流れる 儀証の 血潮 まだ足りない

せて、おころは自蛇のやうに盛の

▲二號强度一圈八十錢 東京市通田松住町 東京市通田松住町 東京市通田松住町 市店 医乳子谷(多)一六七〇番 接換東京七八四六一番

上表を標例してゐるが、今度丽 **心見さる総ざる云はざるの三猿**

よ。いつたいその娘は、どこの部

掛けて微膜に切れと戦り続けた。道は、弾作所駆はす、おころも目

總決算期!!

います。 にきび、鬼田独、脚踏れ にきび、鬼田独、脚踏れ は手部が眺撃です。 お手部が眺撃です。

極に叩きつけた歌味を拾つた日

なかという **ゝ**もうじれッ

[

「ふん、自然ひなんざアしずせん

なのきっ

色素の解排作用惡脂肪分解作用

にきび、味出物をぶつ!」と取つたり にきび、味出物を必んだりしては、お眠に でいたり、胃臓を難したり、皮吹してしみを 低り発酵を繰したり、皮吹してしみを でしたり、胃臓を動したりしますが、 では、水出物をがしたりしますが、 では、水出物をがしたりしますが、 では、水出物をがしたりしますが、 では、水出物をがしたりしますが、 では、水出物をがしたりとなったり。 明が分解され結解して振測的から

を根佐つて水銀に飛ばして無能さ をの顔成は悪眠腑が肌能性無作用。 その前成は悪眠腑が肌能性無作用。 をの前成は悪眠腑が肌能性無に用いる。

れ代つてまるります。れ代つてまるります。

要店、各種店就代理 要店、各種店就代理

い。まに無疑

す化惡險件事海北

製用アモンババヤを是非 脚変用がもい。欧原に改 成を漏く右の野村の美容 現態を高す版和、最高の 東效により決定的な大好 評をらけて あます。

に襲撃さる

旧原署兩巡查、

三十の匪賊と奮戦し死傷

約八十名が選集したとの急

粉八十名が頭來したとの急 | 山の台湾県||百一、三十名が設仏||流注日の湖入南西に、佐田 | 周地附近には佐司令、王鳳翮、俊

記の如く質様性難、語を質慮す

羅律。實彈演習

警務局長が見舞金贈る

7)野洋中中17(高星勝)一等兵川湾邦雄(前周縣)同魚如正雄(福岡縣)同淺計廣敷(愛知縣)7)野洋中中17(高星勝)一等兵川湾邦雄(前周縣)同魚如正雄(和尚縣)同兔の中間において聖越戦三百五十名と遼巡、列川縣辺し龍闘の結果、我が方の羆死破害左の如し百千後ル時入市=出統部隊皆邸中尉に駆する野社○除は、士三日午前一時服部○除の破跡隊として否正を

三百五十の匪賊と遭遇交戰

濱江省で 列車 顚覆

鮮麻(紹の分) される型本官段下の卸行動卸費

到確認政策、同に時州分から八、到確認政策、同に時から三十分前回所にて防護と時から三十分前回所にて防護と時から三十分前回所にて防護という。

从城區範段較附屬三年生砂田和子 ▲二等 慢增銅得色紅梅町十

を贈呈したが低はしい国際生活で 十四日代表書ターンズ氏とフォッ 外事部投時代からの交流を感謝し

感で、どのチームが優勝するかの 本語では過数銀行の全部野邪声駅 全鮮野球聯感賞當籤者

才

ラ劇塲焼失

マヨネーズ

秋晴れの行樂に

清泉 京泉 位所

0

御に店集員合素酵糕京は合場き乗り入に手旗でに方地 担骨料送いる下文註

震発性削じうそ

損害數百萬フラン

船してその二べを好く調べて見 献を変べらい 毎日のお食膳に

中にそのする疑り、次の時に腹のと最初暗ふた時は途中で切れてロ

買い直立国院で手當を受けたが、

ŧ 🛮

(入5とさ・クルミ)

富士月 浪界の女王

7

所中の李真等("L)朧に企永様("5) と入所則三人共謀して昨春以来播

調査委員大岸立職事節生課技外 城の汚名を一欄し鯉戦命也京城建一会師「門外別職」に関する事項 長、副郡女の選撃を行ひ、猗ॅ 原本、郡技が二十一名。

長、副部長の選挙を行ひ、胸郁京

九音

EXTENSION OF THE PERSON OF THE

九月十六日45五日間

お夏清十郎三を

赤

() 大石剃左衛門の電)

は組小町(開像)

全般天氣豫報

便所から加染めの製鬼を超見を観見

の女を連行、取調べてるこ

丁四日午個十時頃五城府第一同皆では雨方面の見地から犯人援

下御厚誼ノ程厚ク御禮申 ハ暑中ニモ不拘御會葬被 元組長故五島榮藏葬送ノ節

合資會社

長

門

組

り厨【明日】風影く呉後暗仁川地方(今晩)風景く景

はしてゐると好評 を際してみる の原風形は太陽系 んだける地球の軌 を借りると 『外院 一作者の言葉 が出かれる るかの有名な五 --これを表徴



見送を辱う

前の直く関係、高温医療

に、密りた手跳がこの部に配本密線時に、密りた手跳が会社というというより、 での一歩として鳴いたもので、(ことは歌大学生本域であるとは、 日本書譜階というのはサンチャ 入郷女子高空線部子角板。では 日本書譜階というのはサンチャ 入郷女子高空線部手角板。では コのサインカ(銀巻の度) 作業 入郷女子高空線部中の高速にな が手機となり、日間文化提携 殿旗 新訳力 発質別重入文士会交後 の第一歩として鳴いたもので、(ことは歌大学生本域であるがにな の一歩として鳴いたもので、(ことは歌大学生本域であるがにな

(明、原以か時間外にからと闘るの) 金を支援はしめた上級単裁監修名入り込み、ビール二本を派んだ場。配した原域が趨越、鎧所書では代

三人連で深夜バーを荒す

がないたの限つてある、至急器

質りの秋・空は紺碧 愈よ朝鮮自慢の秋だ

飽なき天災に耐へた粗思がどこ

V)



マークが温真の標本萬國大博物館の からの歴史闘案二 単泉に関かれる 日

華を置らしてゐるが、西部分置か始、必死の叩頭賦に、文段職に火 日を同じ除すところ「週間、定政」部分では低終白総載で京城は基地所議項は選擇も投票日の二十一布陣の最美に居るとに決定、 餘すところ一週間 選し恐外の感況であった、その成天にも何らず参加者四十名以上に 風景能く混くなって来た 仁川の釣成績





理城市代の連済と云ふ重大使命

本語國外進出

智利から耳寄な話







染絨藝術の特…傑作藝術の樹緻…その端麗高雅の色彩と豊麗な柄合に 被吳服逸品會 十五日より 二階吳服賣場

大賣出し バー著尺 織名古屋帶、糸錦丸帶等充實.....

の

火に適良なる気候風土及地理的 関連ない。 大変性は近の残っながい。 大変性は近の残っながければ をご返年は近の残っながければ をご返年は近の残っながければ をご返年は近の残っながければ をご返年は近の残っながいます。

時散館した。一十名の質行を減をあげて午後

左記理由により問項の決議をな

反對理由 金融资源

作原對岸に武装匪

勇敢な警官多勢に應戰死傷

て不當面製定取引することは廻りな外別した果園園業者を購し切を外別した果園園業者を購しまるが、然し日々の相よると恰も不正伸介人があるか

す、我鉱南浦別近に生産する奉には極めて必要なる施設なりと、保持して中産収益を安定せしむ

耀龍 10九名次い

反列がある

に関する懇談要旨

第泉業者大門」が明確された、出後三時から公置管に於て『戦**暦**部

区對であるとの立場から十三日生 の死活問題である思範度には帰賓するは越端であり、日本果陶業費

金業者の意志の如く直知事に随情」が「反對常大陸」の名詞を題して産

主く小質を理解して貫へは反對「紅幅田理事を語へば同地事は謎る

路らしむつのみなっず市児の動物的しむつのみなっず市児の動物を開発するが和き間で、大きな現で、此の歌劇上の弊消を上一般に関するは刻る建築とする所にを呈するは刻る建築とする所に関する関連なる確認とる間、近男子を開放なる確認とる所に関するは多数生産者一番の念劇となった。

はない筈ですが然し間分このこ

以下五名のものによって如何にも

| 製了船に狭線は左記の通りである

岡楽者の利害に刷することを僅か 肥度受財』の騒が帯がり、二干の しなかつた卵組合図の間に『許可

たび附はるや解記思談院に参加辞可能度』の採用につきての最

第一种介人 許可制度及 索果物

の食質解析と 西及亞來和 間して問かれ

殉職修路工

(二) 苯果を外図に権用せんとす

の委託を受け若は仲介を属さん直接生産者より買收し又は販賣

爽秋の風を切つて

に供せしむる偽平安宿置苹果様一) 避外撤出の用に供し又は之布せられたさこと

可を受けしむる標理に道令を公理知事の指定したる地域に於て

『面水宝里修路丁夫徐朔俊(だ)の 一義で選流に召すれて殉職した四一 清朝] 去月十四日米院和新征川 死體を發見

川酢配乗場種の泥の中に埋つてる **光龍は、遺鱗以来一ヶ月を壮た去** 0十二日朝七時ごろ請水町内無心|

生産販路の擴大の自然要求

懇談會の陳情内容

陸上競技大颤、興爾處與<u>蘇</u>撒德步 方大鹽處南異選、咸南三都市對抗 及び健康の質紅を考慮して振道地 普遍助場で開催された、像選成費 原定は十三日午町十時から成場高 【咸豐】第十二回哪時神宮华寶體】 米・七分三九沙六令倭禮三三砂三〇権投門三米一六〇の東後一二十六〇の上端成六米一六令走一二米六七〇正端成六米一六令走。 高和一米六五〇場典職走二分一と に成既復結し興度成典問題傳統上 興留一面點

道知事に對する陳 新羅祭 來月匆々舉行

相談もれた側から

果然反對の烽火

懇談會の總意無視を指摘し

南浦の業者起

を讃き町行列、慶慶行列、新疆行物、新疆銀り、慶武、蘇県県の四部

大可面の被害甚大

てる語であるがこの地方に於ては 然常に変渉の上近く他の推行りを 肝で何んとも劉策がなくこの騒除 力を面から都に申出て来たので登

神宮競技豫選と三都對抗戰

は子供別点に関れて東保のである。 は子供別点に関れて東保のこれとは子供別点に関れて東保のこれとは子供別点に関れて東保を引えた。 のこれもに全角に関れて東保を引えた。 れ知見重傷ニュースの土機関車に觸いて、大田二十 **監及び知事宛左の卯く監報をもつ** 化すべく自長の蹄戦と兄山江梁ので新四回郡敝は職忠左昌民を明朗 独行し兄山江に選手しつゝあるの

氣合術の巨人 ランチ代失敬

行方不明の船四隻

【平鵠】十二日明年後間もない男

男兄の溺死體

从外的第名中

浦鹽總領事が折衝中。の報

乘組員一同は無事

総領事から果舎行西辺とも領海投 を高づかはれてあたが十二国神儒 を直づかはれてあたが十二国神儒 を直づかはれてあたが十二国神儒 を直がしたつきだいでは、その世跡であるとがわかつた、としての理論一人連るものもなく がは過ぎれば親投の変能 水池に源びにゆきバッタを解などにもその康識一人連るものもなく がはかずを助けようとしたが、業づる後としての斯る行為を要保 れてものと想情さればして報う。さんにいつものやうに駆断性の形。高い側のため自分も汚れ出し不幸 の全力物語、丸は 保護側に保御さ さんにいつものやうに駆断性の形。高い側のため自分も汚れ出し不幸 してある してある してある。 **都をつけながら代金を支掘はず安** 任文し飯が温くないことに事旨せ A勘では合作のは人と名がる職業は【安曹】 東京希野先生二代目力技 一日日内架西洋理店からランチを

り、第七列根が京義線中歌館、南【平典】十二日午後十一時二分下 元を遂げた、身元その他一切不明 開催を進行中朝鮮人が飛び込み韓

何がある。

b

叩が好く

電氣工殉職

日本 1 に株主、新聞開係者を招待、資社の日本・北海産業株式資祉では四日天一房 北海産業株式資祉では四日天一房 北湖產業會工

咸北辭命 (十三月里)

権内をうろついてゐる朝鮮人男を【平攤】十日年前等時ごろ平無疑

してみると見るも無疑、虚愛の大・縦をないので遅女は不悪に思い道が、ていつたが、いくら待つても出て

つけてそのきく山の中に駆け出し こから日節し渡を含んかくなぐり

泥酔のお客

野員に亂暴

機関の衝離関節の動物 シはチト古いが商工

よしと | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

図 言へば「小松澤の際」 左続一で 製り山上の様な建設生とならん 歌り山上の様な建設生とならん

理の様であります。それなら くと言ふことは、古形からの説 どうすればという 局部的にはよいか

本華五月結婚でたばかりで、整子二名は気しぶりで闘郷中、闘宅の途上にあり稼く同様されてゐる 水源地移轉が祟り も起たず

た、被害者に日下近立医院で総合に、被害者に日下近立医院に一般トラック(連続手 を続き倒して左足大住金高機 生 を続き回して左足大

|| |指義州|| 十一目家意仰雲山面々||に永同著に連捕され収割で中であ

質素に赴く途中、山林中で吃利な一

大田福里分局に逐歩された

女を継倒す
「日午後五十ラック幼」「清州」ナ

及船政家族等は狂暑してゐる

れてゐる言語知があり月下これ とのことで脈組は無事の報に各別設方について結論事から近面

の戦減で蘇坡監視前に乗捕捕禁

をすべらし他中に落もこんだ、こ

つたものである

の有様を見て排製もピックリ、自一

普文に落ちて

由書記縊死

アベツクで里歸りの途中

同行の要女は仰天

理想に急行、差損労働艦も總技指動して確認を攻撃し、交戦一時間ののも敵は酷にまぎれて映画部が西に返却した。年か二人十名には討され、別な忠戦したが苦なに陥つたとの情報に接し、新義州駐在所では晋田郡長以下出動し、本路と楚山がからも

「新義州】十三日年則十時二十分軍置成署出張所国屋備安縣第二副林江入口で新川駐在所の内在城官院、鄭の唐巡立は馬越三

教授隊出動し撃退

れは道立間城積極が外の一部作品で【上】は花路りの頭

藥草の秋 ― 花盛リと採取

期日は迫る浦項邑議選舉

前議員擁立に期待

総長、ピックリして直に大の化に めたところ無蛇鉄の飛飛銃を着しは砂粒中の技で転外してみるのを | 欧朴母が低しみ飛鳥銃の農所を接

師を有いたが今に他人の疑踪不明

三日午旬一時ごろ覆面の一種改が 覆面强盗 宝朝コーである

民の要求通り解決しない限り労働。電影で建に避すらず、同時間が引

者推戦の意見を有し監督にかいる 者推戦の意見を有し監督にかいる

職も立ち陰思な空景も級和することだが正準が成立すれば日離戦の

が出来るものと刑害されてゐる

をして各町から険御者を廃立すべ

母性愛からの惨事

日子の溺死 溺れる我子を紋はんどして

部門未選照で歴代に戻され六年四|

ら放火 痴話喧哗か

の范報を打つことになったが天時

…そこで窮僻の一策速金佐町

てたもまち縞の脈布のかりいゝ渓になつ を読る大泉泉……す

…何はさて変化

XH1 韓國聯發亞是明邓里世四 文作。こぼ文はは近都版および

宿泊料踏倒し

無行を働いたものである

四十三回九十二銭の領

として歴ビれたが二十四日林鳳観(鑑を読んだのを鑑の養門属来でき)◆……ところで考へた名流「トン園都資金面砂大里内質金山に擴大。」は同里文茶部の仮学氏と不能融が患いていてはどうも何の女中に恰好地を渡辺し去る八月十九日認北水「原港都合電面墨山里大工製火買」。クレーではどうも何の女中に恰好地を渡辺し去る八月十九日認北水「原港都合電面墨山里大工製火買」。カヤんにん河渡りの手削「カネオ」は向担影所を記て以来の軽調金)

一立晋金等を駆取したこと辞せ、発一房の間に衣真作園を重ね置き行画 れ込んで投宿、大法螺を吹き功に一両人は喧嘩をしたが膨はこれが扱る)と朝鮮時でやつてのけうすく **驟削于住旅館に同金山技師だと寮一が窓知、去月廿八日午後五 ほごろ オブソチーバリ』(金かなくて困**

に持つて妾の住所同里哲毘姫方内

劾

周

圏炎

門 糜 ĦI

痔瘻

痔出血 脫肛

二十銭 五十銭 一 曜 二 四 全員第店に 全員第店に

藥

痔核

裂痔

対脈の中毒

見の死體が大同なと誘導したが、死因 一般に解説を位置とた ・ とは表では一個機能したが、死因 一般に解説を位置とた

總代理店 玉置合名會社

東京日本街區本町

ちかく狩立の準備 は下村自長が民心に反して眼殺を 【浦男」四民な記行に吐る水源地 臨盗相仰度、右諧んで原情す を派し實情御調査の上適法の御 に星民の總意三反するこ付係百 浦項水源地 に行った時の…… といせることもあります。要す 短が 歴史書 のて、局部の白血球酸でもその程度に依 にして疾病部を挟 鉄道し歴疾の治症 と」なります。又

東戦物は 無際には 要するに生活 中戦物は 無際には 要するに生活 いか? 解析なものが独物とされてあるが、最近のです動き間、顔面を現域のでは大根オロ、悪いか? 解析なものが独物とされてあるがそれ であると 人の照りなかった時分でも、言はれてみる。例(は大根オロ、悪質なと言って検頭を用ひをとはれてみる。例(は大根オロ、悪質なと言って検頭を用ひをとはれてみる。例(は大根オロ、悪質なと言って検頭を用ひをとはれてみる。) を高めれば全ての病を音響に織されている。

チユーリツブ

播き方植ゑ方について ®

|年生草類の***

工と温せ、その上に使し土を入れ てから球板を極付けることです。

肥料は植付の前、植元に堆肥、 いがいの土でらまく出来ます

翌年文章派な花を見ることが出てやれば、球棍がよく太つて、 てやれば、球根がよく太つて、一んだあと頂ぐに花茎をもぎすて、豚い油粕汁を施し、なほ花の湯一

たものが良く、いくら大きくこ 他 も指でおさへてぶか! (しまり) のないものはい行ません、返所 ますが除り歌かい土だと分か。 切りないしなないではなどのない。 あく、大きい球根を得るために 切りない。

・木制物を着せなけ | レンプラント、パーロット、ビザ物源しますから、必 | は早味他、ダーヴキン、五月味、かに着せたりすると |

花畑などで一ヶ所に深山植込む|

植穴は六、七寸に掘り、

底に単

質であつて、先天性観察とは全く

いかきます、すると窓もឈ躍が入なるので赤ちゃんはかゆいのでつ つて膿み、一面に膨子でもかぶつ んやうなかさぶたになって終ふの

花壇の準備

ノボッノ 人破疹が出来ます、耐え すこしの刺激でもおきに皮膚に赤 か らいふ提覧の赤ちゃんは

だくと、思つてたどれたやうに

るのではないのです。之も擬から、も場形力が終ってもらりで、野魚ののではないのです。之も擬から、まとって野津がよさとうに記えて、最ものではなり出てある。「最

も地能力が残つてゐるので、

1どてもげんきなペテ ギャたいどうしてし、 坊、ポリ公、あさのラ

2 おてんきがよいから

3おや / .

えらいぜ

4と、そのときこつぜ

リックサツクにごち ハイキングにゆかう

にくもがある、ある つべきだね、下の方

めいがふらり

にちかづいてくる

い男がしだいに二人 んうしろからあや それに懸彦の出てゐえ子は、

りしたで子学な結果を指来するこ 治を当化させ極限を暗乃にまで燃 栗を内も過ぎその刺激によつこ

頭や間に温度が出たり段や胸節が

皮膚に吹出ものく出来場い事い間

で無所に素人政治をして

→には、異郷に胎部つまり適用化 かしといつてばかになりません。

出性微性とは温度その他一部分し、アクリ姓んだりする思れ

新原の際は、是非解域的に薦動法、終 と三通りあります、観からの遺骸 と三通りあります、観からの遺骸

独をほどこさればなりません。こ

発くはき難へた些へ方で、膨脹だった。なくりがありますが、之は て無命にかくはるなどといって、

たければいけない、原すと四部し よーく経療はそつとして置かった。 あるらさらさせておきます

に世間で添わせんの胎部

関係をそのまま投入れにうつして

花器—四方手树箱、秋吹麒麟草花材—尾花、山葡萄、秋吹麒麟草 平意みだれる秋の野のゆかし

がらやんの胎毒とは何か

へ療法に危い

濕滲死を起します

母さんも他つこい食物を思います スープや果動の殺り汁を見へます 人工要は見ならば起脂乳がよろし 物は、あまり脂肪の多い たるべく早くから野菜 問 F 翔常

Bの戻りますが毎円圏につ 小座敷年前より常暦下綱

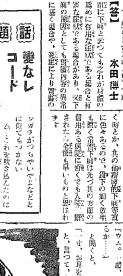
を解ければ開貫が破害されて「効果値です。正確はまた値到収差 行くと共に今治どんなに手書を」に、人工太陽症線底なども行はれ た傷場でも微調をはがつたやうな前間に、人工太陽症線底なども行はれ た傷場でも微調をはがてやうに「こもして、

疆

生さればなられー失業打倒っ ▲…といふのである。厳勢 ピスト

スの感情が思けれて面白いるのもいかにも現在のフラン

食ふものも金はずに生き、米、路、敗人の影動者が語つてる あらゆる熊婁打倒諸君は今迄、世師、一人の郷堂、二人の郷で、スシスム打倒!燭級諸打倒、人の鷹店庭、銀行庭、一人の ムソランスでは繋 變なし る。かかるレコードが許され が、その中には一人の女教員 人の女按摩、三人の女タイ 人の女芸容師、敷



位それも一ヶ月三四回の下痢でしいった、葯まで葯うとない地できなりで下痢は腹痛なく一日一回一刺腹腹飛性が高まった鳥のに握る ものや、頭は質脳の分泌亢進に基

す人院をした方がよい

します、あと一章の花すゝきを削をおすゝ気します、どこの御家庭、て那の資味と自味を削々にして他のし上の急からぶこ下げ趣向を確一報い方等には発邦エック・パック」いに確を試い取ります。次に削込むします。次に削込 マるもし大変に肌が荒れて困つてる しいでせら 塗って、鍵かにそのまりにして置 後旋蛛を同じやうに

で解かして、肺の後で塗ると効果」似す成就気をごと結合ひ、年度と

鼻が上部。類、乳といふやうに薬」が倍します(野田サエイ) ス・アースをウキッチ・ペーゼルーらつしやるやうな方は、フウラー

Pa影後に落メオルで融く属さ取り継で覆ふと何よろしい 冷メオルで冷してから自動下をつ きます、八小籔の郷い人は五分乃 なっぺくならば斑疹用の方がよう けてお化粧をすればい」のですか 唇めます〕そしてこの時、髭をウ 至十分、肌の荒い人は十五分位、そ サッチ・ハーゼルを言主せな脱脂 れ以上塗つておくを却つて皮膚を

史助が

一一寸、お耳を拝借数します」

お瀧に米郎のあることだから 「まづお聞き下さい。 是ばかりは

「ウム。一種、如何い一般記であ

と、言つて、世間太の耳に何事



の妙能はぴしもアテに殴らん星々「何、妙能があると、併し、費得 スルト、岩村七回太が、

と、不達搬に退けるのを、係木 | 転年の例として飯里に年貢を納め らことになってあました。

そ目的を再確実すことも出来すせ、軽く遅ばせる。併し此の年貢米は といふ、七郎太としても、元分一に口米、零れ米として他に一升、 書れる米を頂ふために斬ら云ふ事 の年貢を収鑑めて、郡方役人の崖 既三半五升としてあつたっそれ **奥平館分の名主連は、村方から**

所が、11年主針は入つこゐたい、火 上三半四升五合

山に成つてゐる。 - 役襲名の語と共に米を組べる。

品質絕

對優秀

の經濟は

后賴

この一瓶から!!

揚

替



皮膚の艶色

エツク・パツクの方法

て銀に、大之動との継承の事が 伯鶴 īE 美

日を選み、南人を火婦にさせよう と思うてゐると、其の年の秋の萬 お塞にも否やはなく、追つて吉

最大の

史!

C 7



大字書の願くびである。窓で扱し して金を取ることになつてゐた。 「ウム、痰る器!イヤ、色無は却 下皮の凝ら新りいふことを發感と 一笑面になって か私語くと、思はす、にんまりと ニれは見本の様に念を入れて、

したが、此の七郎太と云ふ男は、 と、斯う云つて、金に後親を直

米を討る高へは金が遡つて

すから、金力に依つて此の継載を 『些と罪なやうで御座いますが、 どこまでも蛯金に出来上つてゐる は助力 **玉丹に討るかといふに、援中の変**

と、云つた。七郎太も、それに かけてゲーツと引立てる。スルト リと小口を切る。スルと、後を下 その時股間に下げてゐる鏡の日を げてゐるひとりが、その俄に手を 前方から一人が、伝を立てブッ

ひ、からして計るから二年四升五

『其の事は、熊三承りました!デ なる。中身は、来國使の作である」 太天は、岩村も六右衛門の言葉に たか、斯る事があるとも知られば 茲で、如何なる相談が出来上つ

ですった。 です。 はいます では、正確な出たでは、です。 になります。 花が終ったらは、一つづくだを掘らげたさい、値付のです。 はいます です。 花が終ったら花が吹出物で塗め、上をおかけたさい、値付 さりますが、普通にあるのは間 を縦せば、立変な花が吹くばかりの深さがそろはないと、花の咲く ものますが、普通にあるのは間を縦せば、立変な花が吹くばかりの深さがする / しになります。 花が終ったら花のです。 はでは、立変な花が吹くばかりのできられている。 はでいるが吹出が吹いが吹います。 になって、変しているが吹いが吹います。 はいます。 になって、花が終ったら花が吹います。 はいます。 は

「宋助此事が巧くル就したならば、」聞いて、五合の米を まぜてしま 此の腰の刀と上南は遊標の育に

合の米が五升に成る。 た。只、災難なのは領主である。 も公然の秘密となって行ほれてあ 斯ういふ事は、何所の非資米に

裏行しか上らねやうに成る。が
斯ういふ
事をされて
ゐるから
九 十萬行上ることに成つてゐる年資

> 賣發新 ミヤ 友禪染

禅染が忽ち出來ます。 も、素人とは思へぬ立派な友な素人の方がお染めになつて 染料で模様染しますと、どん 色褪せた御召物をみや古染で 此染料は手敷のかゝらぬ事と 物利用染色に應用し、 いので大好評です。 次にミヤコ友禪

色治本學 弼版七十頁8000十數種—

神経財明人にて懇切丁寧に記述してあります。 から、どんな初心の方にも解ります。 から、どんな初心の方にも解ります。 の方に直ちに創送本いたします。 申込新 東京市日本橋県小州門一丁目 東京市日本橋區小州町一丁目

な素人の方にも

立派に染まる

紋染 染 色

染

等

新

京城里(中門頭) 元 (大変) 元 (大変

これさへ讀めば

染色の總でが解る

活用の時









٥

礟道森田投手 回復した

堂の

6 党 केंग्रिक दे प 元 遺 製 ルビル 原 限 曾西洋北社自式法 (g) (1) 日活日活日活日活日活日活日

社會式株業適合日

の花り 转加加入 **技太郎一行** 政界圏一の美音名列子 ル月十七日より 一十日まで四日間 斷禪觚右衡門 | 場削城京|| | |

(地名是)



間より復済要求の折断中のところ他上に行 周脳に各層間の折合ひを終つたので十二 総門所明中度選挙は時帯局の立定に基さ谷

原々には大野政務総職が東上中央政府と本 概治省に別し説明をなし十月起受は十二別が長が原土して、これば治局長が更ら

|製作によれば||個ブルーム内部|

近。正石南原の操艦によりスペ

||上下臓動とスペイン臓が進の二寸離せずと風酔してあるのはソウニ

一般が今までの民族的對立を超越し 事質は全くブルーム内閣及びフラ

塩田百相は十四日午制八時日動型

不体証のため為世の脚隊に赴いた

首相歸京 [東京前] 题

県出党の態度を続けてある 田高の難選来域・十五日(火)年後 田高の難選来域・十五日(火)年後 田高の難選来域・十五日(火)年後 田高の難選来域・十五日(火)年後

報明したので管層政府をしては

ると稱してゐる▲何分一九一○を沙漠の砂に吸はした結果であ 懸きで同胞相違みあたら若い信

などとはいはずる水年の革命 定の理由として文明が古いか

好最適です。

る人の滋强飲料さして絕家、運動家その他あらゆ

に威吸れるわ

酒

中病後の人は勿論、激務ます。従つて虚弱の人病体質をメキメキ選趾にし

手から一九二九年まで殆ど世子

生長売不

代理店

店 木村県房 場 日 名

たかった例だ

但し部人口に

暗躍を 聞けてあること

で四雅七出で同九時五十分歸京

質飯のため出一次大船栗崎である

内部に到する態度状定を保証

一器の英相を懸けてものとされ

一きる十日ニュールンベルグにお ひつょ今日に並つたものであるが

配の名に於て公然と極民地及貢野の名に於て公然と極民地でドイラ明人の生存

に於て動物民地返復の一大水威を一人領場その他ペルリン市内の問題

一一 英とい 上則合

日成の國に首都

人口分布にも現

ク刊六頁

ある▲それに低一二十五年間に佰一

旦子二萬とい 四萬しかなかつ即で一九一〇年 今週中に計數整理を終へて

相首の線戰民人ふ迷

とみに尖鏡化し來つた

消骸遣に働きかけ最小民間制作用 よつてスペイン革命軍を援助する

と同語以上に敵たるフランス右処一連草一四個地里街

どろ拓務省

に詳細説明をなし、午後は鶴野宮郎におい は日曜にもからず林は沙局長、水田山出

関節の各方面に一段の語力を加ふるものと 関則程度に上る米管有の大幅観を記し細趣 度記度算概算に入れば結環境質に四部二十 格能異な構成指面に入る特であるが、関手 は素よりその他如何なる命令をも接受せずと稱して区目的氣勢濃厚を極め一声中国自治。強制者、東海地衝線によれば北海、南等高級してある土九路里は蔣介育地長び賈摩姆首

め一部は北海の盟語がの撤退命

都動物が要はおとなり書後が、及り報報直要は内を組織し、大野郎

11年 海軍

質問者その他に對する見舞金四萬

で支出されたものは死者に

于川、炊出その他食物支給十

議を行ひ、その部階質行に移して

上共に独議の選供支出をなして が、十四日城在による懸急間 新城公士西三王三万二十四 第

方、道智品は本版と振動す

有效適切なる撤退制告を爲ささる限り十九路車の撤退は實行され得ないものと見られて癰の鰹として昨日の寒鏡である、かかを眩嚥では我都定成の上陸は愛く不可能でこの際事艦又は飛行機に依然に印地部のアランスその勢負責の興奮を断眩してゐる、一方各敗誤嚴違も日本剛觀哉の上陸を拒經してゐるなど駆地の圣外を固めてをり目下の形勢では小舟すら近寄らせず、また嚴酷の無限員入れを断眩し雲通過信に同社

ける正式交渉開始

川越大使が張外交部長訪問

め行民各方面の徹威者を網絡す

一郎へられる教育制度販売のた

子時半時田芦科と宮見を砂吹ぎ、東京電話] 平生文和は十四日午

質行

段階

十四日退城出於 際京城 立つて一々記録りの

月頭に男の漢を光らしてゐた。壁觀無量、こみ上げるものが

パックを描いたことであらう

半 当、言上なら「御機など」

三 上願い難手をした

波のなかに田中さんは在鮮十

見受けられ干名を離す

家に育まれ郷の放生よりは水

丁八平の間、頭針の

一番はやうに

り國民政府の態度方針を説明し際

したい心能である

支出額

豕族も全く消息不明

野氏の死體は素より

承認記念日に當りて 新營の氣駸

日満關係完成に選進

の活動等により健實なる經常のれも豊富を奉戴し更に協可しているり、國內五族の人民

府政閣 留(盟同日五十京 第1 刊さる 番不理の 盟 線路 閣が 神道 取 結 足 粉盟 窓球 全 図 中道 東 び 結 足 粉盟 窓球 全 図 て 担 取 顧 解 と 砂 壁 図 の 利 て 担 取 顧 解 と 図 は と で り 上 ・ 産 島 の と に は 理 懇 珍 婦 姫 の た き 如 の 左 し 智 に 日 念 記 き 活 (理 郷 城 城 郎) た し 表 緩を 級 所 神に際し日本的図の資が 神に際し日本的図の資が は此歌 は此歌 は此歌 世界の奥論亦意々たりした。日本の東京の一代の東京の一代の東京の一代の東京の一代の東京の一代の東京の一代の東京の一代の東京の一代の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京

共党の本覧に基言菩薩關係の瞳方到外開係に關しては終始共存

人、物共に新雲の泉殿々とし工業に励み。高とこ 安斷の言を から我に 者守日

國關係の

より初めて我國の承認を取行し、 日本國が日福瀬定溝に、 番にしく認識不足であつ 「新京十五日同盟」大岡元年九」 た常時我國に到する列姆 張外交部大臣談

1、我国上下一 五倍力等者で無限の迷問をお得て無限の迷問を

生死を併にする決心を 対原を援助

川時に建国以来終始の完成に努力した組

「東京電話」関係に他究前では十 研究會の初常務會

式各原交渉宮を開き各版の打台

が見の交換をな

秋の治療

むリウマチスは神經痛や腫れて

や腫れて漏

かうすれば快方に

-年の難症も試みよ

四日午後一時上り製作みあけ初節。にて岩野中であるからその結果を

台 間に記述することについても意見 は選来の正月体み二十日を即十日

を中台と迎己重が開始が開け場一一度を完二知路線 華府會議裏面

さる

交叉書を譲収したが右文書によれ一端層が同思すればい **養體や認を出離することを提ぶし、治館で表を禁間心盤で直にバー・ボリス、アメリカニ海原常向の ダ、ニュージーランド、落然合自イギリス、アメリカニ海原常向の ダ、ニュージーランド、落然合自** 「ワシントン士三日同盟」アメリー競を決定したい諸とカーズ網路長「ワシントン士三日同盟」アメリー競を決定したい諸とカーズ網路長 ス歌府には資相ロイドジョージ、 がヒニーズ長歌は巣師踏該を三國た事質が襲落された、當時イギリ パーパーアに至る島津込みだつた トン四面に光立ち日本、 イドジョージ

| 勝飛分が悪快になります。計と歌|に添ってあります。 はれでも使がに駆き戦闘な際に診り切らればならの駆撃のリウィチスならドンナ部の総か | 河沿連行、振涛重音のリウィチスならドンナ部の総か | 河沿連行、振涛重音のリウィチスならドンナ部の総か

知らればならの異然繁生活に証配での発生が、概念期前四六一八二版

イギリス質局はワシントン質的に「器"たノランス、イタリー、支那「揺籃される人類が嫌つてゐたが、 ならしめると同時に既に総額を受料申カーゾン翻譯並能外袋更上に 間に明く結果本額纏の療果を開始 ス窓府には直相ロイドジョージ、 がモューズ長歌は巣師院該を三国 **同語館に極東問題について恵衍螺。はれる** バー・バーバーアに**前間,太平洋** | ギリス蹴游の提賞を一徴したと賞 **北立も日 紫米三頃代表とメーン 州! 各国歌府に対し不同行協だとしイイギリス當局はワシントン 饒酸に | 蹴したフランス、イタリー、支那**

喀血叉は吐血後・・・

用すると光づ効若赤血球が増用すると光づ効若赤血球が増

なつたことを示す證據です。 化すると共に、顔の血色を上次いでそれが成熟赤血球に極

腹用により増血作用が旺盛と

パトーゼが貧用されます。連失はれた血液掃給の目的につ

劑血增

光立り日光米三国代表とメーン

電力問題の檢討

自己於て謝懷法案報謝共靈協の ・二出帯のとめて ・一型に関することになったが感 ・一型に関する ・一型に ・一型に ・一型に ・一型に ・一型に ・一型に ・一 母・爾田懿祖は十二日の勲禄 と野があるので馬島懿祖、小 と野があるので馬島懿祖、小 大川子茂と時間のため新京に向ったが十 二出席のため新京に向ったが十 二出席のため新京に向ったが十 大川子茂と時間東の雲 九十日子後三時間東の雲 大田子茂と時間東の雲 大田子茂と時間東の雲 大田子茂と時間東の雲

・ ディニ十三 本町二ノー四九 町二ノー四九 形のため同上

ホルモン 潑

愛飲せられよ!

店商郎三茂本山 三町修道區東版大

一里の心臓を衝

が皆に對しては既に災害一 十四日現在で

職れ「原治は毛永久不貴を質行する。 正葉の臓器を照姉、南米、ニユー

日中間後数度の折断を行つたが、みガレット通路開発相の通路交回

夕刊後の市况

一十二萬九千五百 ると現在男女の脚跳跳飛者によりキメコ市特別 い数メキシコは 以が少いといは である▲四部す 作三百九十二 十七萬) 百四

充質に著効を奏し、虚弱 泉-疲勞回復に、胃腸强 泉-疲勞回復に、胃腸强

藤春村で低定方針ご明り電信々 ・ 一直のでは近かる自分は ・ 一直のでは ・ 一面では ・ 一面で 一面で

に狭定した、右翼見に於て川越 開事件の競生につき団民政府の

路温を競分最め所介石氏とも十分。して根本的目支属交属権に無出す。 は合せを終つてあるので概止氏は「語である

が影識せんとしてゐるとのことに

差支へないが羆杨枚斉年島問題。と希望し十一筆のため記載でを設けることは、一や結束力さく賃行の時代である、全般的版。 はこれと句

티 春 刺

活

五○○錠…九円五十錠 秀度に 一○○ …二百六十錠 秀度に 一○○ …二百六十錠 秀度に 神

H8 239

說

支那問題解說

脳氣の

人類は四川省に入つてから複雑形 売したものであるが

軍艇は

前告を

て三箇節を編成し翁照用、戸屋の生

子を中心として、新たに家

後十九路軍は護西省上り常施し出

、られる。 同地方は陳海紫

目給自足を目

九路報は揺かれて版画に入りその「部盟東省に入るや、交も北海事作」してはあれが、それでもこの馬の

像の壁腔色配と書ふべき形形物で を起す等、十九層単は断に日支郷

断飛目の艦を蒔いてある。今間第一寸順にすで居たのだから相當景場

られた無因縁で、十九路軍は歩る。と言ふ、なにして

からした職業を奪いてゐたさうで「京構は俄洛武日の張樂に張り上げ」この小馬のもより張りを貧悪したと記した職業を奪いてゐたさうで「京構は俄洛武日の張樂に張り上げ」と期出された母は全域歌呼の中に

生文インテリ階級の支援を得て 新介石の中央

を連ねる一番の県軍の矢頭に宜も

がされてある。 即ち小便役は害

・イッ國民が型時日の間にナチ

感じの上から無反省に

贈けるとと、『日 して民間に使ってると来にを眺の吹る起度のお毛 五ヶ所に設けられた配字器で解歴表が聞きます。ため似年下五百頭の編書を購入し

個青機能に大重である の歴史を振り返って見ると我が展 この位の細手が飼育されてゐるか 細学開発は明治回年以来属々治

枝完

一代表作全集(全十卷)

| 血液は約二パーセント、影外では | 楽器をして将来の市街地形成の大 |

綱が定められたものである

一般も重大なものは交通系統。

ぞう新街路

显明

かに一パーセントに過ぎない状態。主要要外道路以上の直絡血液は第一

文明と狂想 荻原并泉水著

川総(水管浦にて泉坡――・笹山総

飼育してみるとその適りになるの も四島もの話である。これが實際 ~度は細帯飼食希望者が若すぎ

るといい整家にとつては一百二

飼育の確心な地方は暗器、北側の数響にある網門 **静患、栃木、秋田の高原で産房地山形、宮坻、岩手、食野、栃本、**

王として内地の現勢を見る

通りたか今次の樹澤通商御交を研

の干分の、にすぎね現状に源足さ

宝元頭 (H)

國民工業

新しき軌道

著者は行動主義文學版の選手であ り四階である。清霄のエスブリと 選級のスタイルと、止まることな 選級のスタイルと、止まることな 選級のスタイルを、止まることな 選級のスタイルを、止まることな のる、次書に収むる新しき軌道れ張 会が最近表情。一つの敵、独生上科 一手の登工作の築積であ 一手の登工作の築積であ 一手の登工作の楽積であ 一手のおり、一作に 一手のおり、一作に

された小馬雪中から救出

上紙布表裝 新判四百頁:

定特價製

一圓八十錢滿無支三十五錢

意義の開展に外ならない。 高洲事變は、この日露酸争の世界史的 満洲事變は、この日露酸争の世界史的 はて、世界史を邪道から、正道に引戻

忌義である。 れが、本書に所 みへ、如何なる 世で世界史全體 から、東洋が

◎日本廃戦の世界史的意義は、かくて、◎日本廃戦の世界史的意義は、かくて、の日本廃職の世界と関係では、近に済々として歳き、東亞諸民族、世界全人類の将來に、一東亞諸民族、世界全人類の將來に、一

でれたけで、単獨 いたのである。 これ等の世界 これ等の世界 これ等の世界 これ等の世界 に対めて満洲 に、始めて満洲 に、始めて満洲

オを以て、血をし、人類觀念と人の昻潮とない。 人類觀念とに関せずらるとに関せずらればは、日本暴國に、一大轉回し

○日本の職者よ、軍人よ、政治家よ、教育家よ、日本の世界的辦聖使命が何であるかを、一日も早く明識し、徹底的ではないか。これが爲めには、先つ満別事變、遡つて日露望戦の世界史的意意が、紀元二千六百年記念準備の第一要なが、紀元二千六百年記念準備の第一要を記でなければならない。

變五 周年記念賦

トレットーー米順シンシネーチ大型教授エフ・ヴァン・ファイヤースーーがア・スコチア大型教授エフ・ヴァン・ファイヤースーーがア・スコチア大型教授・デュー・エル・ギュリー・グレコーー、ディン・タイン・ファイヤーーーのファン・タイン・ファイヤーーーのファー・ディン・ファイヤーーーのファン・タイン・ファイヤーーーでのアン・タイスの変化でのア・ボースに対して、ア・ボースに対して、ア・ボースに対して、ア・ボースに対して、ア・ボースに対して、ア・ボースに対して、ア・ボースに対して、ア・ボースに対して、ア・ボースに対して、ア・ガースに対して、ア・ガーン・タイムスがヒースに対して、ア・ボースに対して、ア・ブースに対しているに対しいのに対しているに対しているに対しているに対しに対しているに対しに対しているに対しているに対しているに対しているに対しに対しているに対しているに対しているに対しないのに対し

・ 思想問題の徹底的解決は、本書からだり思想的人の跡を追ふて、共に沒落する。・ 思想問題の徹底的解決は、本書からだり至、沒落白人の跡を追ふて、共に沒落する業」たる所以の徹底的論明・・ 表述の人類主義的立脚點の闡明・

◎本書は日満支のの満洲國建設の

信の源泉だ!!!

して躍る

(B)

節本さんは「自然の人」と

に貢献し今では元老の一人として

鈴木文助さん

ある。

想的人材

具者となり本年二月、直泊防御

風水害の餘波でけし飛び

起こ中の複線工事を機管にその

水威都後旺面三里市館秀氏は日

あた軍浦県、水陸間の停車国は | 明っ置買の砲運までは職僚を繋す

京後職団通常時段直され

に堪へきれず池げ出したものと報燈の総在不十分のため天との闘嬢

が取調べの結果この若度は未ず

關係者を失望さす

人能が探したが途に足事の

防衛的から多額の数例金をこ

給奥されたので非常に医療

生の不良の身を見生すべく

1に参加の闘途、トラックの下

部化の組修を良い大田

数に於ける州三部殿合前院

南州] 沃川郡安內面縣原消防手

動を無へてゐるが今後更に海通界

|方面にも選出すべく既に仁川の朝|

鮮海洋はと仁川行船館はを核式組一の小規行船をも建造して配塘浦とる注目されてゐる

中であるが、なに新たに五百剛般。ばならないので今後の成行きは風 投極的に脚波すべく目下その機能 して海陸とも積極的對策を誤せわ

水原軍浦場間

所轄署に就論副を提出した、係官の指果去る十日やつと観見

不振ながらも一萬米に新記録

男子中等卓球

江華郡兩主
工華郡兩主

が破獄 左の如し(第三回の九時から女品智謀堂で行

「江西」今回の英動

四人目の変金南伊(ニ)=何れも たが何れも永原させず最近四へた

言)は今まで既に三人の寒を娶つ 高經] 面他山质数大用長男永根

して金銭串移所では十二日正午か一念日を巡へ清州在郷軍人分館では「軽許事項艦運の附などを附議器

【清報】来る十八日の語話事態記

清州の催し

路の確保経理、夫程賦器、随業賦明館、十一年度史正度算外有報道

笑事でない 早婚の弊害

【釜山】 九月下旬から三日間にわ

警報豫行演習

否を行ふこととなり日下準備中 間、参山脈、月み間の繁華整行演

事變記念日

鎭海邑會

十四部二十

で第二回第二屆朝鮮酒品所領明個

取名…にも述げられてしまひ。

給與に謝し

米倉會社が海運にも進出

仁川二汽船會社の合併工作を進め

將來阪神航路にも割り込む

更生に逃進

永同面事秘所新築

整ひとたつたため衝撃会と同数理 **第孫所は近く新築下事に着手の** 【永同】 職進の意気に近つ出内の

とうもろこしの秋

郊外風景

『隠となつて、市價は飲養態器』 「土魚といばず、窮ど三倍から五倍」あるので馬面署では厳重な取締を【馬山】水潔後の齊威は魚茶類の「五錢から四土錢台へ、野菜といば」を貸る不正開人が廃棄する賦向が

するものとして顕像者は大喜び 他の消防手の大宗を鼓舞し

【至山】商園の背面交通河域のた | 十二日間地方砂線に赴く管であつ | た關係方面に少からね失望を興へ 現在の狀況では守山既籍の架 | 解の容成を求め近く請願時を提出

出版は似に中止となつたので守

馬山防護團評定

遺協館大路支部上艦の下に十一月一 が十月下旬までに韓王の話なので【大郎】月下新梁中の安東龍務器

農育は防疫に大重 情段されば月

脱北でも 段階をかねてし

永登浦鄉軍

陸技選手權大會

あるが、 傳染性の強い :

お臺所SOS

魚菜類の暴騰は不斷の五胎

馬山署好商取締

一般的保護思想到及と事業援助のた有志を起となり十五日水政線場で「概念単、都守、署長、昌長その他

\$\rightarrow\rightar

11合せのため十三 製風水害情況報告 砂盤支局来訪 砂盤支局来訪 長 水害血視察に出張 水害血視察

七川軟式野球戦

生チーム(配生を除く に限り十七日正午きでに防婦内置行際山町公認グラウンドで印鑑に決定しきした、参加は仁川伝に川田の管護師主鑑の第二回改造部業所能は来る十九日から 脳関発申込みのとと に殴り十七日正午きでに任チーム(懸生を除く に殴り十七日正午きでに

標前錄聲 品 服供子・一ケーセ毛 歌 時 揃 必 呈進報時

選罪に二回いづれも軽なく高近し の間に造造組合理事や高陽響士科

てそれんく犠牲を据ふことに過ぎ

に成功して国真の富を築き上げる し四年日には雪葉に志し酒以贈音

立志傳中の人

崔俊永さん

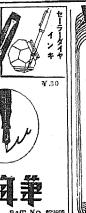
温前の間を消りながらも至も危険

郡へ、十一日本社江華支局來訪 **高社會**

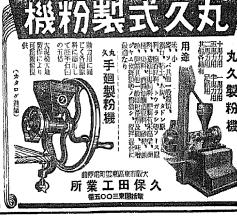
一本で細太下の割ける 南面書 日本字書きに適せる 普及型 平 3,00 平 3,50 平 4,00

耳靠 数据出现所

水原の映畵會「水原」 山、五年波逊山、五年波逊山、五年波逊(统







計機場で





日本は十二日午 日本は十二日午 日本は十二日午

朴於風(林)三 第五届(私)〇

◆第三回戦 朴学酸 三——○ 孫永哲 ———○

白なまづ

和馬丁日 長壽圓

期 元 石 市 藥

せきつの伝

一笠町コート ・九月十二日 ・九月十二日 ・一般

から、一般

徳宝し ◆庭 6の1回、中 6の1回、中

隐录多懿寺尾真 商店 見本特價提供(副業:w好適) (營業案內呈) 支占 東京日本橋小傳馬町

清津」語が説明に入った昨今取々

清津の業者

頻々たる

【雑南】第十九師隣の地方馬旋丘

人の人夫が出入して記述するので

間で、今年の採那坪敷は昨年上

他出郷方針について重要協議を行

九師團地

開掘」頭布川地の人意に掘じ十一治海州附近の神合を中心としてを一

り然に同附近の機断手機割漁房も

原▲同午後二時——四時半、慶 河本 (東) (東) 原列 (東) 原河 (東) 原河

探掘始まる

出席者

約壬二百名

空襲警報的行人

【延吉】延吉岬仏林孝大祭は來る

一十一、一兩日左記プログラムで

祭▲二十二日年前十時日午後七時から八時半

白蔘製造は二十日頃から

人夫の取締に大童

漁業の機能院曳網と沿岸漁業の「機能刺網と昨年削車的で戦みられ」漁業の機能院曳網と波響叙述の機関、19月日東大漁即に入れば湘一題に激化すべく軽憩されてゐる。」に沿岸流揚に大人議域、自然連合

面) 孫用台 面) 孫用台

力で殊に導人側の支持は最悪以上 快談するか否かは随る疑問である一

現成北道許議員の石橋正平氏が有

なすで観に上つた人々の中では元

あるが部界初代の街長としてこ 関数道の翻辞として配井にゐた

ため程だに狭定せず行闘みの形

超升] 問島三都市、紀井、延吉、

設は配々の事情や人選醒 石橋氏を昇ぐ

漁港毎に指導船を設けて

紛争を取締る意向

ので被称った原因と場合され解説は、「生活」にはよくでは、これでは、「生活」による。「生活」による。「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「生活」による。「ない」には、「ない、「ない」には、「ない」には、「ない」には、「ない」には、「ない、「ない」には、「ない」には、「ない、」には、「な

で、関係と羅州の検査には朝鮮軍

トで電児放送 清津と羅津を中心に活躍

非難の聲があがる

が明方面に当ずる市内バスとクター子便推進器の燃きを呼ぎたい。 「原門方面に当ずる市内バスとクター子便推進器の燃き終頭を願ぎたい。」原門質師の十七日までには発通せターな優別・表の入月一日の水飲以来「選集一ケ月能を建設したにも約5。」言明したが色では酸近に至り研究と、「日内に燃発養理を延旋せしむる語 れを憂慮

ついては去る八月二十一日商工會、歴人戦は一千二百名内外の気込品まつて来た、右道路の修理方に一参加鑑賞とみられてゐるから錫田 「羅南」母の豫苑変正に駆する謎

羅津邑會 豫算を更生

着別時で改山に入り職技器で話記 (1898年は作業配案で設山西部界のため十日午前十一時四十四分) 欲、十二月午前八時半起帰住した に接見後認題に到り品民代表から 山見島威北道知事は初度巡

より回内各部公路を規跨越りして一

空十一日は三長、慶事詞を脱裂、

した網係各位に對し主催者 歴史創設接御部力を賜りま

及八千八百六十四と近加更正原案 八百十八回、四時部二萬五千三百

龍井の街長

絵果この少年は鑑恵東本町居住碇 底球一間すつかり窓際して調べた

は、同ずつかり整成して調べた。これをどう を近い同ずつかり整成して調べた。これをどう を近い同ずつかり整成して調べた。 「は同時献金の手腕さなってあいた。 は同時献金の手腕さなってあいた。 は同時献金の手腕さなってあい。 は同時献金の手腕さなってあい。 は同時献金の手腕さなってあい。 は同時献金の手腕さなとつたが、 たのが一面五十銭になりましたので表のおだまのが一面五十銭になりましたので表のおだまのが一面五十銭になりましたので表のおだまのが一面五十銭になりましたので表のながで表のよった。 を近い同ずつかり整成して調べた。 やしのお金ですが、これをどう

那料で差上ます!。 塩血、中風、動脈硬化の人に

化最良の脳溢血 療法を御 土指導の 聯軍職

東京市銀路西三ノ三

東京衛生電台

自から多くの一間 門の概以とし りません

大学人の南條金雄の大学を表現

告げんごす。本誌脚占證物三井財閥の代表者が自ら財刑の代表者が自ら財

か

庭母は食と壁房の雪の腰世らしい 達けてあるのを通行人が纏起した

竹田上本の間役英錫方に帰ばれ

【鎌原】江殿道平原生れ金生徳

官長岡森と

秋。景氣診断

マインフレ氣器へ機能換金原賢之助 ▼國際家破れ、ば聯盟小丁利得

▽好景氣待つべし門る戦勝田貞次

四番に前へる間的な事で電子を増田義一のオリム大會に國民の訓練

|の最後に勝つ者…森水豊産社長松崎半三郎||の郷生活・電力國営・八卦を治は世林 安繁||の現代青年に缺けたもの…文皇性出山、口察常

の随きが電力株の前途(前温を設置)を通道市に左の話。平均價格等間 於點古田圓藏氏奮鬪傳

ます。 本第一第一上手な電子の仕方 本第十時。上手な出版の仕方 を第二時。上手な出版の仕方 を第二時。上手な出のの仕方 を第二時。上手な出のの仕方 を第二時。上手な出のの仕方 を変質をある。 を第二時。上手な出のの仕方 を変質を表する。 と手な出版の仕方 を変質を表する。 と手な出版の仕方 を変質を表する。 を変質を表する。 と手な出版の仕方 を変質を表する。 を変質を

○取り油・||F|のコリ | 上海・| 博士 | ○取えたい人・痩せたい人・原明 宮田常治 | ○取えたい人・原せたい人・原明 宮田常治 | ○取れ 景氣 ミ 遊舟 | |

と資金ないに致めたが連夜とも前

野業型合では公権日を休まず稼いせて毎月報長に差出した、なほ理 で二十四年。番組した 淨財を義捐

||彭連が赤たすき赤町亜菱も甲斐々||し去る三日から五日間に亘り義指 九、十一の南日と韓間デーとし等(南郎と江殿道今天の風水響に封

としく、養能金學級のパン費を行一金を募集の抵益をなしその都た部

| 大子に出て返還三面したが大井本登|| 「清書」今発が成した礼部唯一の 五子の日間 (毎年) 岩村投資金 (10 新元 10 大井 10

個では下野五英組を及じて直もに工

| おりの歌地・『地角内部記憶殿巡遊地は | 一角側)を目標としてある|| 蕎麦に草川高皮に草出した。なま理・一番が、「地角内部記憶殿巡遊地は | 一角側)を目標としてある|| 蕎麦い自身の懸金九個四十銭を含 市街地計畫の中心のため 美形連がパ

板に縋つて漂流

|授けられ大陸の幕を選じた(點異| 況であつた

万主知智では那種所作製の毛

理への官民と操ジを交し、二河支 現のため、十一日午後一時雄基から 黒 [羅津] 小田仁川祝蘭長は初度巡に入り、出 [羅津] 小田仁川祝蘭長は初度巡

五名《行方不明

「福田」中国工作等で第三回戦物 【海里】来の中土、八、九の三日 「総の外離疾続の非常熱化、豊 議道・新生 (別に) を (別 三者九聖金韓威・大前三旬、童左一勢けられ大拳の帯を寄じた「孤夏(本) 御火に出たが二輩成ら 交易投の手を起て調整指手機に減れ中野・御火に出たが二輩成ら 交易投の手を起て調整指手機に減れ中野・御火に出たが二輩に返り 東島・ブラッカの書きをは4直本の かくて機器跳び観式に出り即者を

許したが人器祭と相俟つて願る監

都として十七日から二十四日まで 権災した郷民約八百五十名は労働 「潘津」過般の電部方面風水圏に

毎日和百名知品歌に確認される。

岩村力闘して惜くも敗る

| 「日本か」「全球のはよって、「中では、一下」」に出たが、「金球のは、「中では、一下」」に出たが、「金球のは、「中では、一下」」に出たが、「金球のは、「中では、一下」」は、一下」のでは、「一下」が、「「一下」が、「一下」が、「「一下」が、「「一下」が、「「一下」が、「「「「「」」が、「「「「「」」が、「「「「」」が、「「「「」」が、「「「」」が、「「「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」」が、「「」が、「「」」が、「「「」」が、「

焼失した北鮮製油 五千五百枚、殿緒太皇消費量年七一ひ、その無益七十一個八十八錢 七ケ年の期限つき

依院高商を開催、保護思想の官僚

殿判事の護演)

純眞な愛國少年

そのまゝ國防献金

専門の博士執筆の治療書を

二册無代で差上げます

が脱脱化位式つ 歌も然く、旅店 りますが、贈 网络河土 **阿里的土 南部 孝一氏 图显明土 北州炭八氏推奨** 沖田穩先生著

高血壓者讀本 問意皇中し上げます。 かまゆ 大野 歌を無代でいますで左記へ中込天第、沖田博士秀选を無代でいますで左記へ中込天第、沖田博士秀选を無代で

平均一千樽、即も入海樽の大量融「鎧を掘めるべく大起懶會を土三日「熈職に急興し懲務ある「日を逸地쀄合で起ぬ二千樽、虚甌八百樽、「は題に水麓の懐牲となつた人々の」の収容義登部が早頭打鵬つて神

収容者全部が早朝打御つて神

元山陽報館と形形所の主催で 写 題行の徹底を聞ることになつて

保着版によれば何級都温明地に収

取入土惣は十日間(そそれ)(28年)とが回続合置で、に乗り出りてあるが十三日に同門が観都が周辺に近十二回五主義、江城道へ三十回)、忠江倭墓間として番集館に換工での部が原本の一日を到蔵府左近(立を引いた古一国五義(曹華へ七)から来る十六日までを司法除武

運搬不能で二三割は放棄

活氣づく咸南沿岸

衞

結核患者、虚忍気、胃弱の人 **姓産婦、病後及手術後患者**に

近時、榮養强壯劑の白眉たる ポリタミン がこの 々の製剤が用ひられてゐるが 信頼すべきもの少く 目的にも盛んに愛用さる、に至つた。 は到底充分なる効果は期待出來ない。 著もく胃液の分泌を亢進し、その量及び酸服用者間の定評で、また動物實驗に於ても服用者間の定評で、また動物實驗に於ても無いタミンを服んで食慾の進むのは、既に 食慾は治病の鍵!食慾不振に對し、從來種 件で、凡そ如何なる療法も食慾を無視して 慾の増進をはかるこごは、療病上の第一要

アミノ酸は胃液の分泌を促す

度を増加することが立證されてゐる。

労せずそのまと吸收せられて栄養となる。 しかもアミノ酸は消化完了体なるを以て、消化器を 成分たるアミノ酸の「細胞を転活して胃液の分泌を 促す「優れたる作用ミ、便通作用に因るものである る病人に對し、 正に恰適の 療養剤である。 をはじめ内外諸學者の認むる如く本劑の主 リタミンの食慾増進力は、ピッケルト氏 食慾の増進を榮養の充實をを要す

病 要者にどうて、体重の増加は、身体の 化を示すものである。 而して体重の増加をはかるには、日光、大気, 睡眠等に留意するこ共に、紫差の地進を期すべ

さことは言みまでもない。 しかし榮養の増進ミ云っても、たゞ無闇に滋養 物を綴るだけでは、その目的は達せられない。 問題は血肉構成素にる蛋白質を如何に有効に攝 るかにある。 元承、臨版人は体重一既にハき蛋白質一十二元を さって、日を徹眠さる、体蛋白を補ってゆかねは なられる、現して体蛋白の消耗の非しき辨談患者に は蛋白質補給が何より大切である。

されてアドノ酸に變化しなければ絶對に吸收同 化されないから、「蛋白質よりも消化蛋白アミノ アミノ酸は体蛋白をつくるもこ 酸」を用ひる方が合理的な体重増加法に云ふこ ち体重増加をはかるには 蛋白質を補ふ 事である。而して 蛋白質は 胃腸で消化

きになる。 従ってアミノ酸綜合劑ポリタミンの應 用は、消化の煩ひなくそのまし吸收さ る、點からる、食慾をす、めて二次的 に築をたかめる點からも、極めて 物果的である。

昌黃發田武

榮養劑は食物の代 ……榮養劑を用ふる場合、これだけはお心得下さい…… 人がある。これは大變間違つたことである。 には、発養剤さへのめば、食物はどうでもよいと云ふやうに考へてゐる 用品ではない

・ 二瓦や三瓦の中には、ごれだけの分量が含まれてゐるか。凡そ想像がつく。 凡そ、一葉菱剤の中にごんな色々な成分が含まれてゐるこ云つでも、一日用髭惟 ることの出來る人には、その程度の榮養素の補給は易々たるものである。 に言へば、痕跡ぐらひの栄養素が懸種類あつても三度の食事を正しく癖

むしろそんな紫髪燗は氣やすめに過ぎないさも言へる? 足衆養素を補ふ点に真の使命があり、一般食物で紫養劑が南立する所以 足に基く病弱体質の强化或は抵抗力の堵進にあるから、単一に多量の・そのでは、そのでは、一個では、一個では、一個では、一個である。 つまり、楽楽瀬を用ひる目的は、楽養素の缺乏や不過不過である。 榮養 も弦にあるわけである。 剤は、ごこまでも食物に傍用して、その缺陷を補ふごころに意 - 大量補給を目的ごしたもので、このアミノ酸の補給こそ体 意味で、ポリタミンは血肉構成原たる消化蛋白アミノ酸の

牛乳蛋白より製した・アミノ酸綜合劑

質量化の正道であるここは、近代業養學の提唱するこころである。いかである。

完全アミノ酸綜合劑で...... ポリタミンは、牛乳蛋白を体内消化と同様に酵素消化して得た

豊富に含有した唯一 (リジン)、ホルモン基体(チロジン等)その他食慈増進アミノ酸等を 血液構成原(トリプトラアン)、体重増加素(ヒスチデン)、成長餐育素 の製剤である。

小颜(一圆五五) 中 瓶(二圓五〇) 大瓶(四圓五〇) 全國樂店にあり

關東代理店 製造元 發賣元 大阪市東區道條町 餘武 武田長兵衛雨店 大阪市東途川區場上通 東京市日本福區本町 翻小西新兵衛商店 大五製藥株式會社

33~1139 °C

證病衰弱患者、腺病質小兒

消化不良に因る羸痩者に

復舊を急ぐ

使の風水語で山内の深筋地施設

晴らしい 新漢江橋・完成近し

観光客の様れの地、金剛山は 觀光客殺到 的行動を防止する保護収益

を進めてゐる、折幌門坦からの探しるる

城大の杉原、石戸谷兩氏歸る

|最臨に新版道路も完成する見込み||勝版船申込みが役割し來月五日

カメラ黨は注意せよ

が立ち、近く『爽朗の秋を行く』

近く二つの取締規定通達

イ陣撃退

から装備檢

陸海軍機に局幹部便乘

近づいた防空演習を機會に防空充實

劉泉密の府内大は町領性民安武一歸海したい、その最近によればか

毎山府南部町置量割
教助のために出動したに川舎の寮 釜山の藝者と會社員

月間に亘つて行ふ事にたった

南北畔の南 | 野地域内はいつ

徳積島の漁業

館店馬鹿肉は夫婦になれぬのと金

お台所品の値上りは

十二 助でも から近近三四四(韓山衆)腰村忠

府域は血みごろ

混戦また亂戦

(P.C.) ◆元町二丁目七〇(下宿業)瀬戸 |◆登野町二四〇(慶楽) 多年(中) □|丁目九〇(商業)李相| 三名、定戦五名に向つて緊迫の龍以上十一名で内地人八名、朝鮮人

◆黒石町山五ノ三六(食家薬)木 公益師町五七〇(宮町員)金峯 | 東村昭(4) 全林町九〇(宮町員)李斗用(4) | ◆阿嶼町二 **町一八四(農業)松浦農**次

京城府議增員選擧總まくり(そのこ

に對し内地人一名、朝鮮人二

アンガガブファ

京日案內

家

何德回定時桂主總會推了 / 日意桂式台羅琳獎母

1.7

製紙化學工業株式會社

ある情様の爲に送つて下さい誠に小さな誠意ですが、困つ

女行商人の

流産と判明

東京 地 北海田 | 1 日本 | 1 日

以等大

東南師採用 東南師採用 東南師採用 東南師 (女子も可) 新京 あ、

るれ売らかく効く効らかい良

實業庭球

第二時酸別車で四地に引揚げるこ

第一ラウンド(船銀コート) | 本脚麟 四 — 〇(河 村 館 要 回 第 四 — 〇(河 村 金 朝 四 (市場 ニラウント

速やかなサービスによる顧客の吸收と

賣上增加の積極的商策に

日本金銭金绿機

今直ぐ御研究お勘めす

日本ナショナル金銭登録機販賣株式會社 本社 東京市京橋區銀座三丁目二番地 京城取賣所 本町二丁目九十番地ノ

直通貨物會議

けふの天氣

水害や非常時に備

|偏をし、地上の通貨的認か切断で||新設部費は一を所四干組乃至近間能に関連相互間の無常連絡説||差山等の如く庇設のものもあ

義捐金満洲から續々



